

平成24年度 地域リハビリテーション広域支援センター 研修会 報告

平成24年度も皆様のご協力をいただき7月・3月に研修会を実施することができました。第1回・第2回の研修会を簡単にですが紹介させていただきます。

○第1回は「これからのリハビリテーション ～地域リハを中心に～」と題し、長辻永喜先生（藍野大学 医療保健学部 作業療法学科 学科長）にご講演いただきました。

今後、介護保険、自費負担でのフィットネスなど地域への参入が予想される。そのなかで私たち、医療職も周りの状況にアンテナを高くし情報収集しなければならない。

研修会では海外での視察研修での様子としてデンマークでは高齢女性が活発に趣味活動、リハビリデイに取り組む様子、高齢男性はフィットネスに取り組む様子がスクリーンに映し出されました。今回の研修会は、これからのリハビリテーションの将来像を海外での例もふまえて解りやすく、面白く解説していただき大変参考になりました。



○第2回は前看護部長の野村 眞佐子先生をお迎えし開催しました。

テーマは「TA理論を使って私を知る ～幸せに生きるために～」でコミュニケーションについてご講演いただきました。



第2回研修会講師は野村眞佐子先生・座長は小原看護部長で、自分分析・コミュニケーションについて研修会を開催いたしました。研修会開催にあたり伊藤院長より本事業についてのご説明とリハビリテーション科スタッフに激励をいただき大変うれしく感じました。

研修会では、TA理論におけるP（CP・NP）・A・C（NC・AC・RAC）を用いて自身や他者から評価してもらい、自分の発見と気づきにつなげていく内容でした。

1時間半では消化しきれないこともあり、長崎名誉院長から講演内容についてのアドバイス等もありました。しかし、TA理論を知る良いきっかけとなり、興味を持っていただいた方もおられ質問も多く、終了後もしばらく講師への質問が続きました。

☆研修会へのご要望等ございましたらリハビリテーション科スタッフまでお気軽に申しつけください。